

国吉祭2023

くによしさい

ミニゲーム

in

京橋朝市

きょうばしあさいち

岡山大学国吉康雄研究講座が
ワークショップを無料開催!!



おめんワークショップ

額装づくり

参加無料

2023年 9月3日 日
朝 6:00~8:00 ごろ

大雨中止 ※開催判断は備前岡山京橋朝市HP参照
会場 / 備前岡山京橋朝市
〒700-0831 岡山県岡山市北区京橋町3-3
※京橋朝市は、岡電東山線「西大寺町駅」から京橋交差点を目指してお越しください。

お問い合わせ

- 国吉康雄プロジェクト <https://yasuo-kuniyoshi-pj.com/>
- 岡山大学5DLab HP <https://5dlab.org/>
- TEL 086-289-5807
- メール info@5dlab.org



主催：(一社)クニヨシパートナーズ
岡山県 / (公社)文化連盟 / おかやま県民文化祭実行委員会
文化がまちにある!プログラムin 備前実行委員会

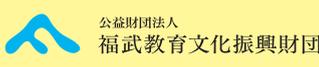
企画：岡山大学学術研究院教育学域《国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座》

制作協力：公益財団法人福武財団 / 岡山大学5DLab. / 出石国吉康雄勉強会

助成：(公財)福武教育文化振興財団



さらに国吉康雄について知りたくなった方は、岡山大学5DLabへ。
国吉康雄作品の展示を実施しています。(入場無料)
岡山大学5DLabでの国吉康雄模写展示が10月なかばまで実施
住所：岡山市北区津島中2-1-1 一般教育棟A棟1階5DLab
期間：2023年10月中旬まで ※土日祝日、8/11~16は休館
(10:00~13:00, 14:00~17:00)



国吉康雄って？



Photo by Souichi Sunami

20世紀を代表する洋画家のひとりで、現在アメリカでは、美術家、社会活動家としての再評価が始まっています。国吉は1889年岡山市北区出石町で生まれ、日露戦争終結後の1906年に、混乱する日本を離れ、労働移民として単身渡米。絵の才能を認められ画家として活躍する一方、教育者や社会活動家としても高く評価されました。太平洋戦中は、敵国人身分となりますがアメリカに残り、ナチスや軍国主義を批判し、晩年はアートのオリンピックと呼ばれる、ベネチアビエンナーレのアメリカ代表にまでなります。1953年、ニューヨークで亡くなりました。

国吉作品（5DLabで模写作品を展示）

安眠を妨げる夢

1948年
カゼイン・石膏パネル
50.8×76.2cm
福武コレクション



ここは私の遊び場

1947年
油彩、キャンバス
68.5×112.0cm
福武コレクション



ミスター・エース

1952年
油彩、キャンバス
117.0×67.0cm
福武コレクション



少女よお前の命のために走れ

1946年 / カゼイン・石膏パネル
35.5×50.8cm / 福武コレクション

国吉祭とは

岡山には、児島虎次郎、竹久夢二、小野竹喬といった近代の巨匠作品から、雪舟や武蔵、浦上玉堂といった豊かな日本画コレクションや古代吉備、オリエント、そして池田家の貴重な宝物、資料など、国内外に誇る文化芸術資源が数多くあります。これらの美術コレクションのなかでも、明治に岡山で生まれ、世界的に評価される洋画家となった国吉康雄の作品コレクションは、質、量ともに世界最大規模とされています。岡山大学国吉康雄研究講座の企画する「国吉祭」は、そんな国吉作品と研究資料を、岡山の大切な文化芸術資源として活用することで、幅広い世代、地域みなさんに、国吉康雄の芸術に触れ、その魅力を伝えようと、2013年から始まった体験型アートイベントです。

国吉祭2023in京橋朝市

京橋朝市を会場に、ワークショップを無料で実施します。国吉康雄研究講座が、日本各地の美術館や公民館で実施してきたもので、国吉康雄が描いた絵に出てくる仮面をオリジナルで作ってみたい、国吉康雄の作品ポストカードを額装するワークショップです。これらのワークショップは、“MoMA”の呼び名で親しまれ、アート作品を使用した教育プログラムの開発にも力を入れているニューヨーク近代美術館からも評価を受けています。今回開催する背景にあるのは、子供の頃の様々な「体験」が、受験や就職活動で重要視されつつあるコミュニケーション能力を含む「非認知能力」を伸ばす鍵だといわれていることです。非認知能力とは、例えば勤勉性や自制心などの「自分に関する力」や、最近注目されているコミュニケーション能力など「人と関わる力」を含む能力のことです。子どもの能力というと、これまではIQや学力など、勉強面の認知能力が強調されることが多くありましたが、この認知能力の土台にもなる能力だということがわかってきました。子供の「体験」は、学校だけではなく、学校外での体験が大切だといわれています。昔は、地域のお祭りやお楽しみ会など無料で参加できるイベントが多くありましたが、昨今の「体験」の有料化で、参加できるものは限られてきます。この機会に、親子でワークショップを体験してみませんか？